

# 田中康夫

今月の憂いコト

アメリカ大統領予備選から、丸山和也議員の問題発言、中国と北朝鮮の微妙な関係、台湾企業のシャープ買収まで。

田中・浅田両氏が「ソトコト」編集部を訪問！

編集部員の机に向かったり、書庫の本を眺めたり、

ビルの目の前にある芥川龍之介の生誕地を訪ねたり。

”日編集部員“を体感してもらった後、

まさに再編集が必要な日本の現状を語り合った。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

# 浅田彰

# 憂

# 憂国呆談

season 2 VOLUME 70

## どうなる!? アメリカ大統領予備選挙。

浅田 アメリカ大統領選挙もいよいよ各党の候補者選びが佳境に。民主党は民主社会主義者を自称するバーニー・サンダースが善戦、本命のヒラリー・クリントンを苦しめてる。他方、共和党でも、一時的なお騒がせ候補だと思われてた「暴言王」ドナルド・トランプがトップを走り、本命だったジェブ・ブッシュは早々に撤退、彼の子分だったマルコ・ルビオも伸び悩んで、トランプを止めるには「茶会」右翼のテッド・クルーズしかいないって絶望的状况に。両党ともに主流派に対する大衆の反感が異端候補を押し上げた形だね。

共和党は、巨大資本の利害を代表しつつ、低学歴・低所得の白人男性を中心とする大衆をポピュリズムで煽って票をとってきた。そのあげく、エリートがポピュリズムを制御できなくなってるわけだ。いまさらトランプを批判しても遅いんで、トランプは自分たちの生み出した「怪物」なんだよ。また、トランプはブッシュ・ジュニア元・大統領が偽の情報でアメリカをイラク戦争に引きずり込んだことを批判し、高額所得者への増税を主張するといった点では、エリートよりもだとも言えるわけだからね。現に2月13日に最高裁のアントニン・スカリア判事が急死して代わりを決めなきゃいけないのに、保守派のスカリアの代わりをバラク・オバマ大統領に選ばせるわけにはいかないってんで上院の共和党指導部がガーランドを指名したにもかかわらず指名承認の審議に入ること自体を拒否するありさま。来年末で判事が8人のままだと4対

4で膠着しちゃうケースも出てきかねない。それでもお構いなしってんだからトランプも驚く駄々っ子ぶりだよ。

とはいえ、トランプが共和党候補になれば、本選挙ではヒラリーが優位。リベラルなイメージを掲げつつ、実はウォール街とべつたりで、古典的左翼のサンダースにそこを突かれたわけだけども、トランプが相手となれば、いまサンダースに流れてる若者や女性もヒラリーを支持せざるを得ない。そこまでいくのにTPP反対といったサンダースの政策に多少ともすり寄る必要があるだろうけど。

今後、有色人種の割合が増える分、民主党が有利。実はいまだって、日本のように全有権者が自動的に投票できる制度なら常に優位なんだけど、あらかじめ登録が必要で、アフリカ系の連中が登録に行かなかつたりするわけよ。他方、政治資金の規制も抜け穴だらけで、コッチ兄弟のようなトップパーセントの大金持ちがカネで選挙結果を買つてると言われるような状況。破綻国家のネーション・ビルディングを云々する前に、アメリカこそまともな選挙のできる体制を再構築してもらいたいね。

田中 本当だね。支配層と被支配層の間の「ブチブチ」と呼ばれたホワイトカラーの中産階級が、ICT・情報通信技術の進行に伴って疲弊しているのはアメリカに限らずヨーロッパも日本も同じだけど、とりわ



けアメリカは1%の超富裕層と99%の非富裕層への2分化が顕著で、世代間、地域間、人種間の分断も深刻。こうした中で、職業を奪っているのは不法移民だと唱える超富裕層のトランプを、白人の低所得層が熱狂的に支持しているんだね。

「当選したら国民にとって悪夢」とリチャード・ギアが「欲張り」で手に負えない悪ガキ」とジョニー・デップが、更にはマット・デイモンが「メキシコ以南の外国人に冷酷」、ジョージ・クルーニーが「外国人嫌いのファシスト野郎」と非難しているけど、口八丁手八丁な不動産王というキヤリアに加えてTV番組で人気を博してきたトランプは、同じくメディアが育てた元・イタリア大統領シルヴィオ・ベルルスコーニと似た、憎めないキヤラクターを發揮してブルーカラーの被支配層に受けている。まがいもの的なアメリカカンドリームなんだけどね。

浅田 橋下徹にも似てるね。

田中 民主党は、ウォール街、製薬業界、軍需産業から巨額の選挙資金を得ているクリントンが優位とはいえ、銃規制について興味深いことを言っている人がいて、戦争反対を唱えるサンダースも共和党の候補者と同じく銃規制を争点なのに、クリントンだけは銃規制を争点の一つに挙げていない。銃規制は当然の話と日本では思っているけど、なぜかアメリカでは議論にすらならない。それをあえて争点化しているのはマイナス要因にならない

か、と。

浅田 ただ、サンダースは昔の土井たか子みたいな感じで、万一大統領になっても何もしないのには目に見えてる。ヒラリーはビルと同じくカネまみれの体制派として嫌われてるけど、その分、実行力はあるから、結局、嫌々ながら彼女を選ばしかたないんじゃないかな。

田中 誰が候補者選ばれてもうまくはいかないということかな。サンダースやトランプでは無理だとして、上から目線と批判されがちなクリントンのような旧来型の政治家は、イラク戦争時のジョージ・W・ブッシュと同じく、近視眼的な戦争を始めちゃいそうな気がする。

浅田 21世紀になって、黒人のバラク・オバマに続き、女性のヒラリー・クリントンが大統領になるって言えば清新なイメージだけど、クリンとかダーティかの差はあれ、いずれも利口な現実主義者、裏を返せば革命的な変化は望めない。まあ、それでも危険なポピュリストよりはましとすべきか。

田中 自由貿易推進の共和党の「理念」に反するトランプが大統領候補になると、従来の共和党支持者の3割以上が離反すると共和党主流派は頭を抱えているらしい。浅田さんが以前から述べてきた共和党の終わりの始まりが、今回の大統領選だね。ところでギャラップ社の世論調査では、トランプに60%、ヒラリーに52%の有権者が「否定的なイメージ」を抱いているらしい。この拒否数値の設問を92年に調査項目に入れて以来、今回のトランプが歴代1位、クリントンが3位。ちなみに2位はブッシュ前大統領。「嫌われ者」同士の今回は、誰を当選させたいかでなく、誰を当選させたくないかの大統領選となっている。

**オバマ大統領は奴隷の子孫？  
丸山議員のトンデモ発言。**

浅田 春画を掲載した件で不当にも3か月の「休養」を命ぜられた新谷学編集長が現場復帰して以来、『週刊文春』の独走が止まらない。甘利明経産相の大臣室での収賄疑惑を大新聞に先駆けてスクープし大臣辞任に追い込んだのは大したものだ。

むしろ問題は、大新聞も含めたマスメディア全体が「週刊文春化」していること。ベッキー&川谷絵音(ゲスの極み乙女。)の不倫騒動に続く宮崎謙介議員の不倫騒動がその典型。議員も有休を取るべきだと主張しながら妊娠中の妻をおいて不倫してたのは「ゲスの極み」だけど、法を犯したわけじゃない。そもそも昔の新聞は一議員の不倫なんて報じなかった。ところが、『週刊文春化』したマスメディアが騒ぎ、安倍晋三首相もそれに過敏に反応して、離党で取めようとした自民党執行部を押し切って議員辞職に追い込んだ。あえて言えば、不倫ごときで議員辞職する必要なんて絶対ない。

田中 しかも、宮崎が辞職して空いた京都3区の補欠選挙に、当選の見込みがないと政権与党は候補者すら立てない。彼を公募で選んだ責任問題を、京都選出の谷垣禎一幹事長や伊吹文明前衆院議長に押し付ける深謀遠慮だったりして。

それよりも大問題なのは、参議院憲法審査会での丸山和也議員の発言だ。「今、アメリカは黒人が大統領になっているんですよ。黒人の血を引くね。これは奴隷ですよ。はつきり言って」と。言葉を扱う弁護士なのに、いかにリテラシーがないかを暴露しちゃった。その翌日には、「リンカーン大統領もマーチン・ルーサー・キング牧師も尊敬

**「嫌われ者」のトランプを  
支持するアメリカ国民は、  
逆説的意味合いで  
健全なのかも。(田中)**

している。尊敬の念が迸った言葉がどうして人種差別の発言と受け取られるのか全く驚きだ「批判は不条理で、非常に怒りも覚える」と火に油を注いだ(苦笑)。

浅田 黒人でも大統領になれるアメリカは素晴らしいって意味だろうし、それはいい。ただ、オバマは奴隷の子孫じゃなく、父親がケニアからアメリカに留学し白人女性と結婚して生まれた子ども。アメリカの一部では、オバマは奴隷の苦悩の歴史を背負った「真の黒人」じゃないって批判さえあるくらい。そんなことも知らないのかと、むしろそっちに驚くよ(苦笑)。

田中 東アフリカ諸国の若者を対象にケネディ家が創設した奨学金でハワイ大学に留学した彼の父親は「選ばれし人物」なんだからね。で、トンデモ丸山発言の真の問題点は次の箇所だよ。「日本がですよ、アメリカ



田中康夫  
たなか やすお ●1956年東京都生まれ。  
一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。  
長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。

カの第51番目の州になる「そうするとですね、集団的自衛権、安保条約とこれ全く問題になりません」「拉致問題ってありますけど、この拉致問題すら恐らく起こっていないでしょう」「日本州の出身がアメリカの大統領になる可能性が出てくる」。

アメリカの第51番目の州として日本が存在しているらば拉致問題も起こり得なかったという発言は、国民の生命と財産を守る能力が日本政府にはないと断言しているのと同じでしょ。しかも、71年前の敗戦時にGHQの占領政策受け入れにとどまらず、「琉球処分」を沖縄に強いた日本国が、「JAPANN」処分を自ら申し出るべきだったと「自虐史観」を披露したわけだ。しかも彼は、「自主憲法」制定を党是とする自由民主党の議員だからね(苦笑)。「ゲス不倫」の宮崎なんかよりこっちこそ除名にすべきだよ。

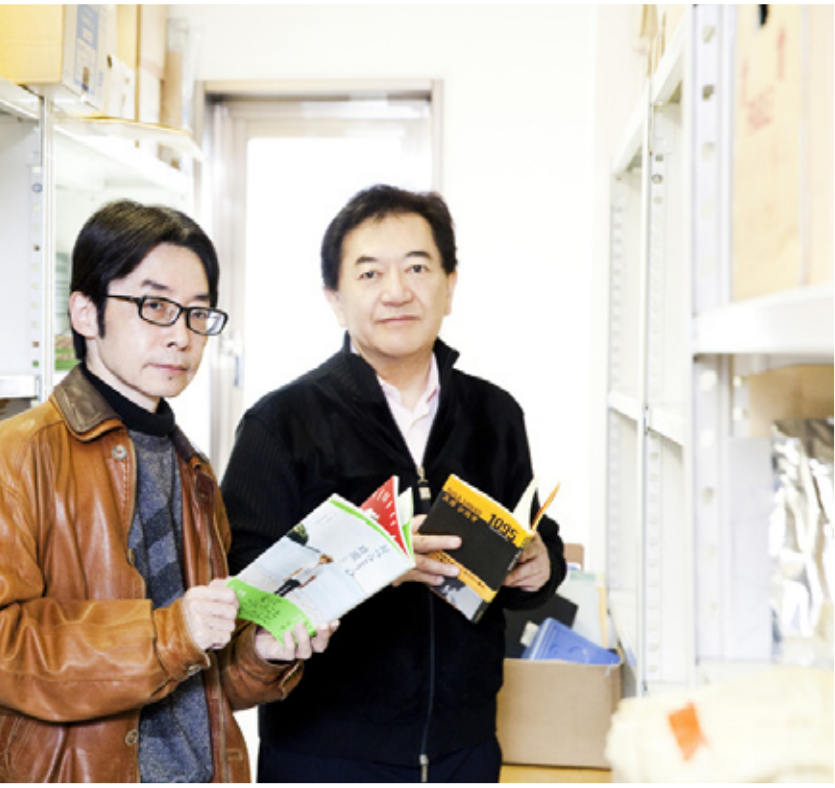
浅田 戦後、日本は国家主権を放棄し、天皇制も廃止して、アメリカに併合されるべきだったって話だからね。実はぼくはそれでもよかったと思うけど(笑)。

田中 「売国奴」だ、「非国民」だとネット上で彼を血祭りに上げてこそ、ネトウヨの皆さまの「正しい」ポリテikal・コレクトネスのはずなのに、生体反応ゼロ(苦笑)。しかもマスメディアも「奴隷」「黒人」という言葉に過剰反応するだけ。

**韓国にサイドが配備されれば、  
中朝戦争が勃発する？**

田中 先日、「毛沢東 日本軍と共に謀した男」(新潮新書)を書いた遠藤誉と話していたら、こんなことを言っていた。これまでは北朝鮮が中国にとってもアメリカにとってもバツファーズの役割を果たしていたが、金正恩は親中派の張成沢を粛清し、中国は北朝鮮に対してかなり苛立っていると。確かに今回の国連決議には常任理事国の中国も賛成しているからね。でも他方で、アメリカが終末高度防衛ミサイルのサイド(THAAD)を韓国に配備するのは中国としては阻止したいと。

かまってる、かまってる症候群の困った坊やが第3代指導者の北朝鮮にとってはサイドの配備は屁でもないんだけど、サイドの射程距離内に中国が入っているからね。仮に北朝鮮が暴発してアメリカが動けば、中国としては安全保障上、北朝鮮を支持せざるを得なくなる。でも、メリットは中国には何一つなく、アメリカにも勝てるわけがない。となると、そうした動きになる前に



中国は逆に、中朝戦争という新たな朝鮮動乱を起こして北朝鮮を瓦解させる選択を取らざるを得ないかもしれないってな見方をしていた。

浅田 北朝鮮の無謀な「水爆実験」や「人工衛星（ミサイル？）発射」は、中国も腹に据えかねてるでしょう。ただ、それでも北朝鮮というバツファーを失うわけにはいかないから強い圧力をかけられずにいる。それが通説だよね。ただ、戦争につながりかねない暴挙を繰り返すこんなバツファーならかえって危険じゃないか。他方、朴槿恵政権を見ればわかるように、韓国はそもそも中国の属国のようなもの。韓国が事実上北朝鮮を併合しても、朝鮮戦争終結を理由に在韓米軍が縮小されるなら、実は中国指導部にとって悪いシナリオじゃないと思う。むろん、朝鮮戦争で大きな犠牲を払った人民解放軍にそれを納得させるのは大変だろうけど。

ついでに言えば、中国の習近平指導部は人民解放軍の再編に乗り出し、バブル崩壊をソフト・ランディングに導くため国営企業集団にも手を入れようとしている。いよいよ正念場って感じだね。

田中 この点も遠藤によれば、共産主義を掲げて国家資本主義の道をひた走る一党独裁支配体制・中国共産党を瓦解させる最後の皇帝にはなりたくない、との執念が彼を支えているのだと。ミハイル・ゴルバチョフにはなりたくない。でも、彼が国家主席を退くであろう2023年以降、中国はどうなるのかな。

浅田 他方、シャープの末路を見ても、日本経済の先行きは暗いね。シャープにはすぐれた技術があった。しかも、IoT（物のインターネット）の時代になって、情報



まさに週刊誌レベルに落ちてるマスメディアに、きちんと取り上げる力はないってこと。(浅田)

化された家電が再び脚光を浴びようとしている。さらには自動化された電気自動車も、いわば家電の延長線上で考えらえる。そこでシャープの技術が生かせるはずだ。「目の丸連合」と称して国内でのシャープの再生を目指した産業革新機構も、そういうことを言いながら、今まで実際にやってきたのは、各社のディスプレイ部門を統合することとで合理化、つまり首切りを進めることくらい。それよりいい条件を示した鴻海（FOXCONN）グループに身売りを決めたのも仕方なかったと思う（鴻海とも取引のあるメインバンクのみずほ銀行の言いなり

### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。



になっただけだし、最後に巨額の偶発債務が明るみに出て鴻海の決定が遅れるって醜態を晒したけど。そもそも、材料調達から製品販売まで一手にやる垂直統合に代わって、グローバルな水平分業が優位になっちゃってるわけで、アップルやデルに部品を供給してきた鴻海はその象徴だからね。ただ、問題も多い。台湾に本社のある鴻海は、主に中国に約130万人もの従業員を抱えて、昼夜を問わずぬ突貫体制でアップルなんかの要求にこたえてるんだけど、賃金や労働環境はそれに見合ったものじゃなく、従業員の自殺も多

くなっただけだし、最後に巨額の偶発債務が明るみに出て鴻海の決定が遅れるって醜態を晒したけど。そもそも、材料調達から製品販売まで一手にやる垂直統合に代わって、グローバルな水平分業が優位になっちゃってるわけで、アップルやデルに部品を供給してきた鴻海はその象徴だからね。ただ、問題も多い。台湾に本社のある鴻海は、主に中国に約130万人もの従業員を抱えて、昼夜を問わずぬ突貫体制でアップルなんかの要求にこたえてるんだけど、賃金や労働環境はそれに見合ったものじゃなく、従業員の自殺も多

い。アップルはクリエイティブなプログラマーやデザイナーが未来を切り開くってイメージで売ってるけど、裏側でそれを支えているのは鴻海の無数の従業員の奴隷労働なんだよ。だからこそ、鴻海自体、シャープの技術も利用してもっと付加価値の高い製品をつくるところまでいこうとしているにせよ、結局、シャープも奴隷の一部として使

田中 その日本も、非正規社員を大量に出現させて、「縦社会的発想の水平分業」で辻褃を合わせているわけだから矛盾しているんだよ。なのに、鴻海は台湾企業だから許せるという短絡的な発想が日本のエセ「保守」のおバカなところ。中国企業だったらお怒りになるわけでしょう。

浅田 実は鴻海の生産拠点は中国本土にあるんだけどね。ともかく、毀誉褒貶はあるにせよ、郭台銘（テリー・ゴウ）会長が1974年に従業員10人で始めた鴻海をグローバル企業に育て上げた辣腕経営者であることは確か。対して、世界の認める技術を持ちながら、ここ四半世紀、なすすべもなくじりじりと追いつめられていった日本の家電・エレクトロニクス業界の経営者たちの責任は、もつとちゃんと検証されるべきだと思うよ。いまのシャープの経営陣なんて当事者能力ゼロだもん。

田中 まったくだ。エッジの利いた企業戦略を持って、とマスメディアは述べるけど、そのメディアも含めて長いものに巻かれて前例踏襲の事なかれ主義なムッシュ・ポワール（洋梨＝用無し）ばかりが登用されていく日本だからね。それは欧米とて例外ではないし、その意味では「嫌われ者」のトランプを支持するアメリカ国民は、逆説的意味合いで健全なのかもしれないね。